

WISE CITY

WELLNESS & WALKABLE  
INTELLIGENCE & ICT  
SMART・SUSTAINABLE & SAFETY  
ECOLOGY・ENERGY & ECONOMY

2016年7月発行

編集・発行

横浜市・東京急行電鉄株式会社

[連絡先] 横浜市建築局住宅再生課

☎045-671-4459

# 次世代郊外 まちづくり通信



vol.17

次世代郊外まちづくり通信は、「次世代郊外まちづくり」のさまざまな活動をお知らせし、地域の皆さまをはじめとして多くの方々に知ってもらうためのニュースです。

## 「コミュニティ・リビング」の取組み第1弾! ～(仮称) WISE Living Lab の整備に着手します～

「次世代郊外まちづくり」では、歩いて暮らせる生活圏の中で、必要な暮らしの機能が揃い、多世代の暮らしや交流・活動を支えることができる「コミュニティ・リビング」の実現を目指しています。

この度、「コミュニティ・リビング」の取組み第1弾として、モデル地区の中心に位置し、美しが丘公園に隣接する東急電鉄所有の土地・建物を活用し、「次世代郊外まちづくり」の情報発信や活動の拠点となる場「(仮称) WISE Living Lab」(ワイズ リビング ラボ) の整備に着手します。

この施設は、既存の建物をリニューアル、一棟を新築し、共創スペースやカフェ、展示スペースなどを設ける計画です。

なお、新築棟を含む施設全体のグランドオープンは、2017年春を予定しています。

このプロジェクトを通じ、リーディング・プロジェクト 2016 に掲げる「コミュニティ・リビング」モデル・プロジェクトを推進し、「産・官・学・民の連携・協働による、郊外住宅地における良好な住宅地とコミュニティの持続・再生」の実現を目指します。



全体イメージ (※現段階での施設イメージです)

# 企業社宅跡地を活用した 「コミュニティ・リビング」の取組みも進んでいます

企業社宅跡地を活用した「コミュニティ・リビング」については、2016年7月5日に「たまプラーザ駅北地区地区計画」が都市計画決定されました。

「たまプラーザ駅北地区地区計画」では、老朽化した団地等の建替えの機会を捉え、安全で快適な歩行者空間のネットワークの形成を図りつつ、地域利便施設の誘致により核となるまちの拠点を整備し、住み替えの促進と質の高い住宅の供給を行うとともに、緑豊かで良好な居住環境を維持・再生することを目指しています。

## 住民創発プロジェクトの最近の取組みを紹介します

2013年にスタートした「住民創発プロジェクト」で認定された各団体の活動は、現在も自主的に継続され、地域活動への参加も進むなど、エリアマネジメントにつながる取組みが進んでいます。



子育て家庭と地域をつなぐ架け橋  
美しが丘カフェ



夏はサンセットヨガを開催  
オールたまプラーザの健康・コミュニティづくり



桜まつりにも  
廃油回収ステーション  
たまプラー油田開発プロジェクト



おしゃべりカフェを定期的で開催  
たまプラー・コネクト



遊歩道ツアーの開催  
(写真：ただ)  
AOBA+ART



第3回まちなかパフォーマンス「GUMBO」  
たまプラー座まちなかパフォーマンスプロジェクト



見守りも稼ぎも  
右肩上がり拡大中  
あおばフレンズ  
(LLP 青葉まちづくり活性化協議会)

